

人間関係論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 香川 由美 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、教養教育センター		
担当教員	香川 由美 助教		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20 時間
期間	後期		

・学修方針（講義概要等）

「どうすれば良い人間関係を築くことができるか。」人は日々その方法を模索し、コミュニケーションの努力をしている。本科目では、社会心理学の理論を中心に人間関係に関する基礎知識を学び、周囲の人と良好な人間関係を築く力を修得することを目指す。

具体的には、人間関係の基本である「自己の理解」「対人関係」「集団の人間関係」の3つの観点から各回のテーマについて、自己分析やグループワークを通して学びを深めるアクティブラーニングを行う。グループは、医学部・歯学部・薬学部・看護学部のメンバーからなる4人グループを作る。

（授業3回ごとに席替えを行う。）また、第7回と第9回の授業では、「ビブリオバトル」という書評ゲームを行い、各自の選んだ本の魅力を伝えたり聞いたりすることで相互理解を深める。

保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行するために良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とどのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。第8回講義では、学外の小児科専門医を招き、医療現場における医療者同士のコミュニケーションや、医療者と患者・患者家族のコミュニケーションについて講話をいただく。

この科目を受講することで、自己理解を深め、自分の気持ちを我慢したり意見を押し通したりするのではない建設的なコミュニケーションを練習し、医療人として周囲から信頼されるリーダーシップの基礎を身に付けることができる。

・教育成果（アウトカム）

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、医療人としての職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。
(ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,9)

・到達目標（SBO）

1. 自己概念を理解する。
2. リフレーミングのスキルを実践できる。
3. 対人認知に関わる要因を説明できる。
4. アイデンティティについて説明できる。
5. アサーティブ・コミュニケーションを実践できる。
6. 集団意思決定について説明できる。
7. リーダーシップについて説明できる。
9. チーム医療における人間関係について説明できる。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/4	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#1(1)授業ガイダンス、(2)人間関係論とは、(3)自己の理解① 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1.人間関係論の学問的背景と講義の全体像を理解することで、人間関係論を学修する自分にとっての意義を述べるができる。 2.自己概念について学び、自己評価に影響を与える要因について説明できるようになる。 3.リフレーミングについて学び、実践できるようになる。 【事前学修：40 分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめておく。 【事後学修：50 分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【C-2-4, C-2-5, C-2-6】
9/11	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#2 自己の理解② 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1.MBTI(Myers-Briggs Type Indicator®)の基礎知識を学ぶことにより、自己に対する理解を深めることができる。 ※ MBTI の個人診断を行うのではなく、各タイプの特徴を考慮したコミュニケーションの工夫を学ぶ。 2.自分とタイプの異なる人の思考や判断の特徴を知ることにより、自己と他者のタイプを考慮に入れたコミュニケーションを実践できる。 【事前学修：40 分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめておく。 【事後学修：50 分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【C-2-4, C-2-5, C-2-6】

9/18	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#3 対人関係① 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1. 対人魅力について学び、人が他者に魅力を感じる要因を列挙できるようになる。 2. 対人関係において葛藤が生じる理由と対処法を説明できるようになる。 3. 愛着スタイルを自己分析することにより、自分の傾向を把握できるようになる。 4. 親密な関係の維持と崩壊に関わる要因を列挙できるようになる。 【事前学修：40 分】 講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修：50 分】 講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【C-2-4, C-2-5】
9/25	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#4 対人関係② 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1. 3 種類のコミュニケーションスタイルを学び、それぞれの特徴を説明できるようになる。 2. コミュニケーションスタイルを自己分析し、自分の成長課題を挙げられるようになる。 3. アサーションについて学び、アサーティブ・コミュニケーション法を実践できるようになる。 【事前学修：40 分】 講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べままとめておく。 【事後学修：50 分】 講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【C-2-4, C-2-5】

10/2	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#5 集団の人間関係① 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1. 集団形成について学び、集団の人間関係に関わる要因について説明できるようになる。 2. 集団意思決定の種類を学び、それぞれの特徴について説明できる。 3.ブレインストーミング法、コンセンサス法を練習し、集団の意思決定を実践できる。 【事前学修：40 分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめる。 【事後学修：50 分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【CM-04, C-2-4, C-2-5】
10/23	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#6 集団の人間関係② 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT (WebClass)】 1. リーダーシップの種類を学び、それぞれの特徴を説明できるようになる。 2. リーダーシップのタイプを自己分析し、自分の強みと成長課題を把握できるようになる。 3. 事例をもとに、チーム医療に求められるリーダーシップを述べるができるようになる。 【事前学修：40 分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめる。 【事後学修：50 分】講義内容を復習し、確認問題に取り組む。 【CM-04, C-2-4, C-2-5, C-4-5-1】

10/30	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#7 ビブリオバトル（クラスマッチ） 【プレゼンテーション】 1.自分が選んだ本についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2.ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3.グループメンバーとの質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 【事前学修：40分】「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。自分のおすすめ本を選んでプレゼンテーションの準備をする。 【事後学修：50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【CM-02, C-2-4, C-2-5, C-4-5-1】
11/6	木	2	教養教育センター 心理学・行動科学分野	澤田なおみ 非常勤講師 香川 由美 助教	#8 医療における人間関係① 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT（WebClass）】 1.小児科医療における Family-centered care の実践について実務者の講義を聴き、患者・家族と医療者のコミュニケーションはなぜ重要なのか述べるようになる。 2.講義とグループディスカッションをふまえ、チーム医療における医療従事者間、患者と医療者の人間関係で大事にすることについて、自分の意見を述べるようになる。 【事前学修：50分】講義で取り上げる内容に関わるキーワードについて調べまとめておく 【CM-03, C-2-4, C-2-5】

11/13	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#9 ビブリオバトル（ファイナルマッチ） 【プレゼンテーション】 1.他クラスから選出されたファイナリストとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2.ファイナリストの発表を聴くことで、説得力のあるプレゼンテーションのポイントについて自分の意見を述べるができる。 3.質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 【事前学修：40分】「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。 【事後学修：50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。 【CM-02, C-2-4, C-2-5】
11/20	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#10 まとめ 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1.これまでの講義で得た知識と経験をもとに、良好な人間関係を構築する目的と方法について、自分の考えを説明できる。 【事前学修：40分】これまでの講義を復習する。 【事後学修：50分】講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。これまでの講義内容を総復習してWebClassの確認テストに取り組む。また、提示された課題についてレポートを提出する。 【CM-03, C-2-1, C-2-4, C-2-5】

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論	山蔦圭輔、本田周二	南山堂	2021
参	補訂版 社会心理学	池田謙一他	有斐閣	2019
参	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011

・成績評価方法

【総括的評価】

各回の提出物（50%）、レポート（30%）、確認テスト成績（20%）で評価する。レポート課題と提出物の評価基準は講義時に提示し、基準に基づいて評価する。ビブリオバトルへの取り組みはコンテンツシート・シナリオシートの内容、クラスマッチでのピア評価の内容および質疑応答への態度を対象とし評価する。

【形成評価】

講義毎に理解度チェックを WebClass で実施し、理解度、到達度を確認する。結果は WebClass からフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。

・特記事項・その他

- ・ 各回、講義に関する課題に取り組み提出する。フィードバックは次回講義の初めに行う。
- ・ 最終回に WebClass で確認テストを実施する。解答と解説を WebClass でフィードバックする。
- ・ 科目全体のまとめとしてレポートを作成して WebClass に提出することを求める。結果は WebClass にてフィードバックする。

【事前学修と事後学修】

- ・ 事前学修：シラバスに記載されている次回の講義内容を確認し、授業で取り上げる内容に関わるキーワードについて参考書等を用いて調べまとめる。
- ・ 事後学修：理解度チェックに取り組み、理解が不十分であった事項については配布資料、参考書等を用いて理解を深める。
- ・ 各コマに対して、事前・事後学修に 90 分以上を要する。更に、レポート作成に 7 時間程度、確認テスト準備に 3 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

【その他】

- ・ 一部「医療と法律」「医療と物語」「パーソナリティ心理学」と横断的にビブリオバトルをおこなう。
 - ・ 本科目では毎回グループワークを行う。実施方法については感染予防を鑑みて、状況に応じて適宜変更する。
 - ・ 成績開示方法：成績確定後、希望者には結果開示と講評をおこなう。
 - ・ 当該科目に関連する実務経験の有無 有
- 小児科専門医から、第 8 回授業において、患者・患者家族を支えるチーム医療（小児科医療における Family-centered care の実践と研究）について講義をいただく。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Panasonic CF-SV Let's note)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	ノート型 PCPC (PC-GN235AAAF)	1	講義資料の作成